



藤見泰高

小さな昆虫も撮影がしっかり出来る "顕微鏡モード"なる必殺技(?)が付いた面白いデジカメを購入しましたっ! これからの季節ガンガン昆虫撮影してカメラの機能を使いこなせるように がんばりますっ!!



廣瀬周

仕事場のテレビを買い替えました。 まだ映りはするのですが、ちょっと調子 が悪くなってきたので思い切って…。 振り返れば我が家の家電の中では最 古参だったかもしれません。20年もの 間お疲れ様でした。



3

79

第49話

第50話 ニープブ

第51話 完全



第52話

初出/マンガクロス2024年1月~5月掲載 https://mangacross.jp

> ※この作品はフィクションです。 実在の個人・団体・事件等には一切関係ありません。





今までのお話

修学旅行中に旅客機が墜落し、孤島に漂着した織部睦美。だが島は巨大 昆虫によって支配されていた。睦美は仲間たちと共に辰野大島への避難 に成功するが、この島でも巨蟲が発生。逃げこんだ病院も巨蟲に寄生され た人々に包囲されてしまい……!?

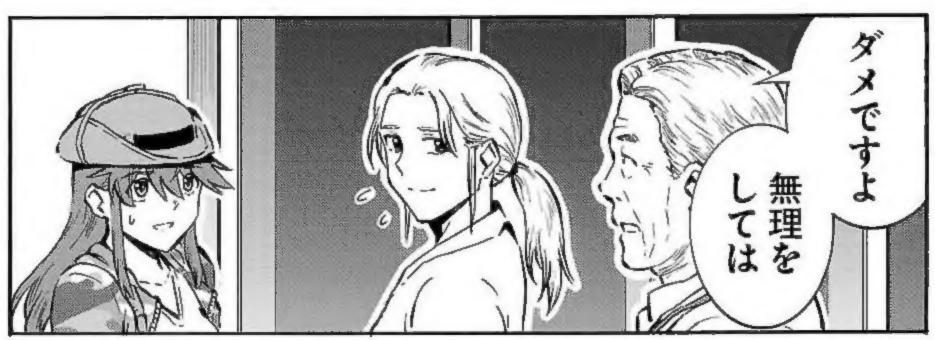










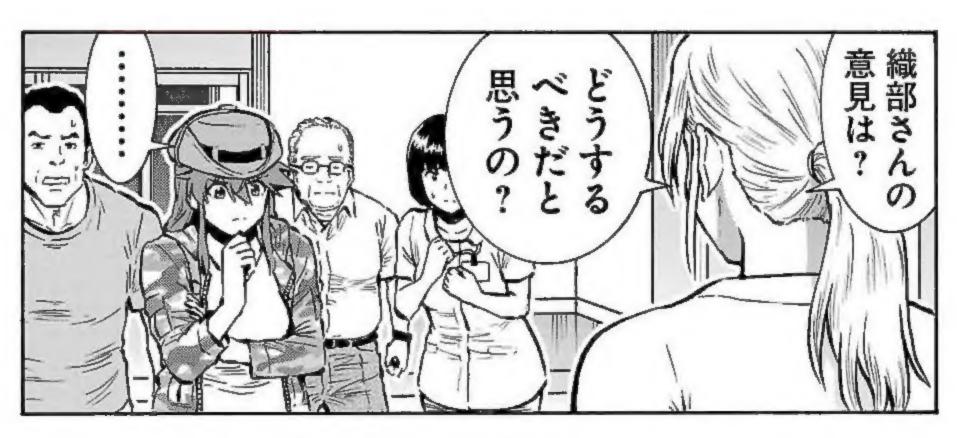


































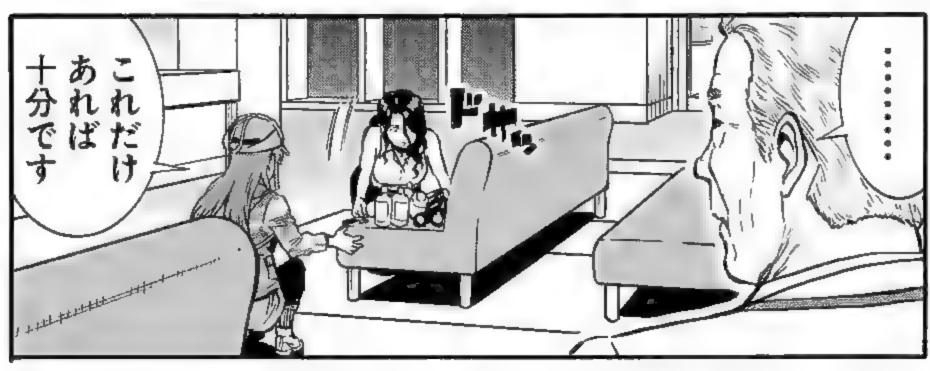




















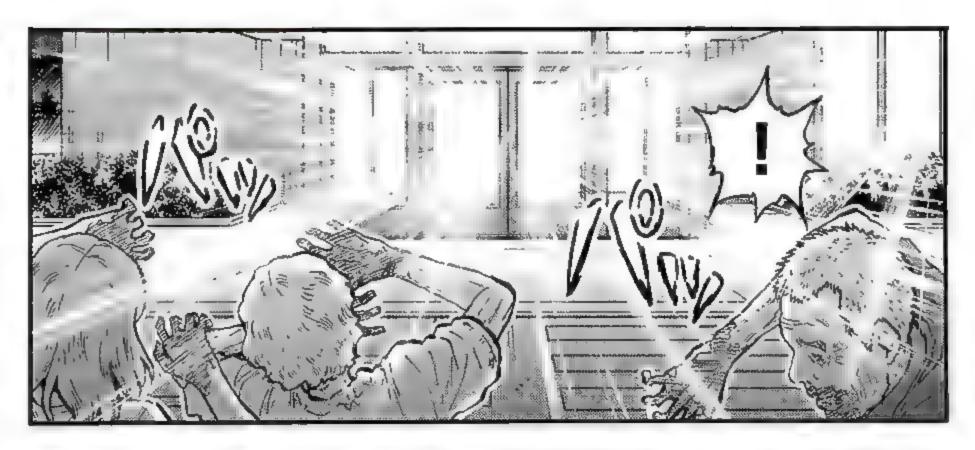


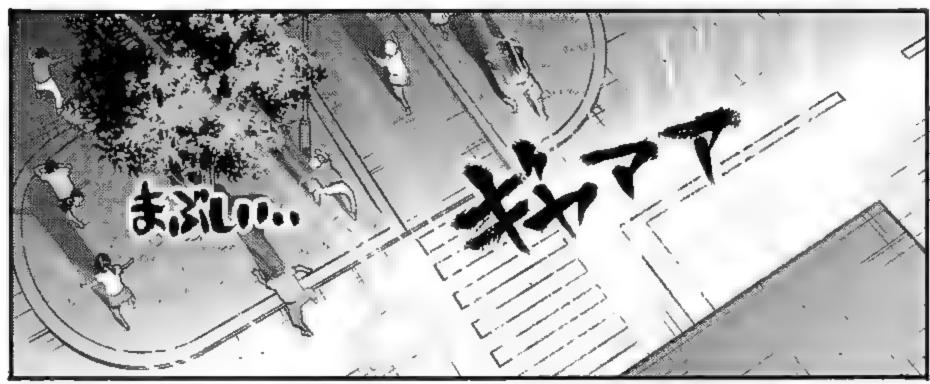


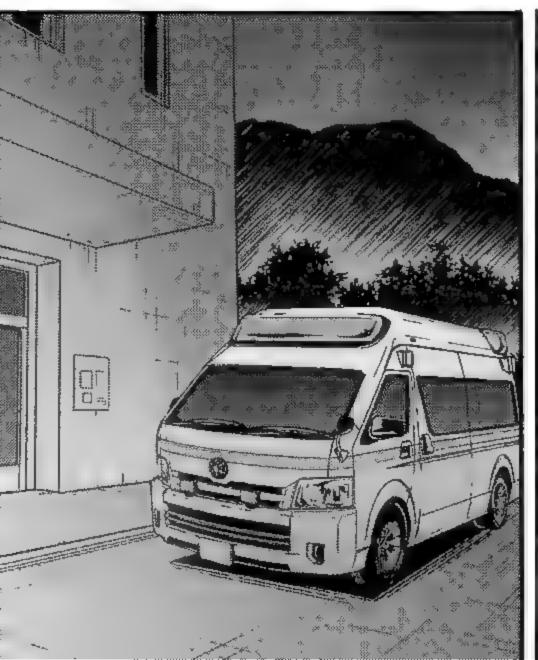






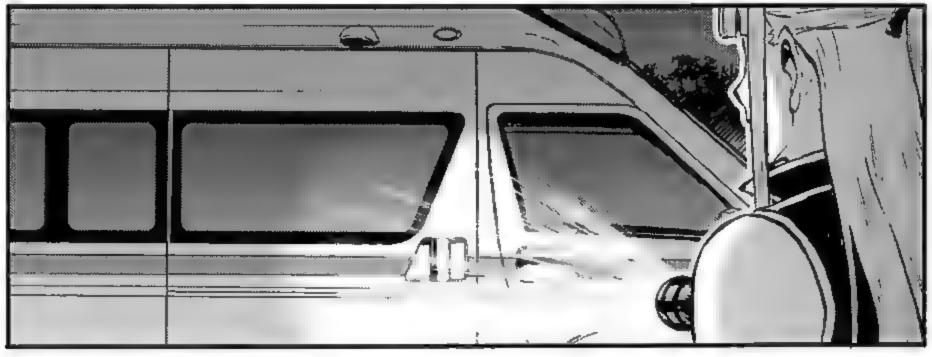












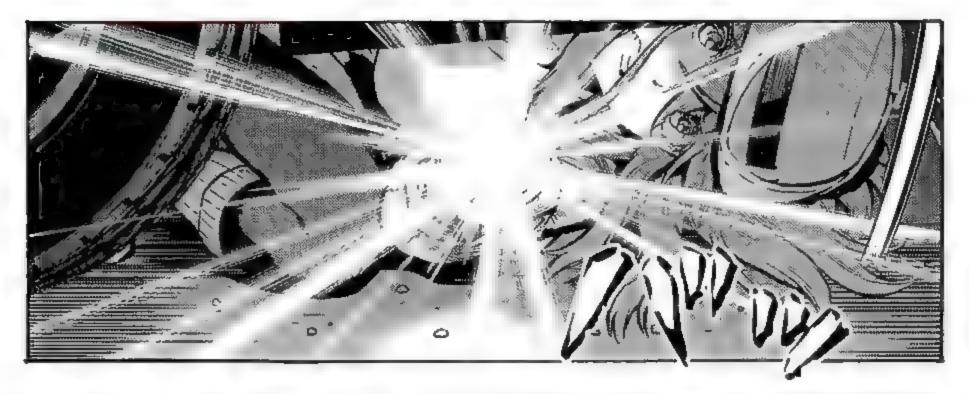












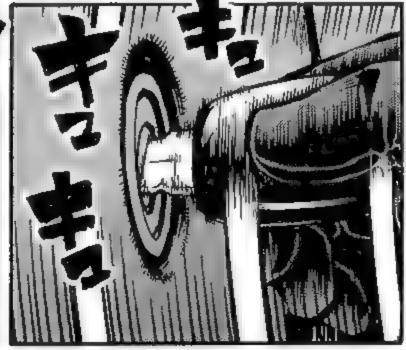




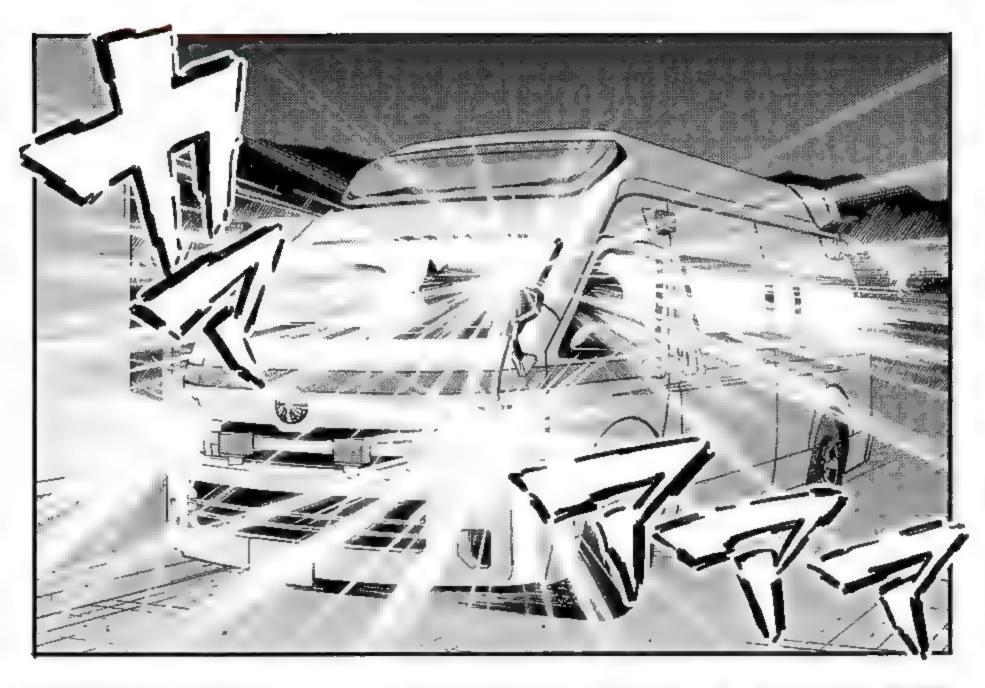


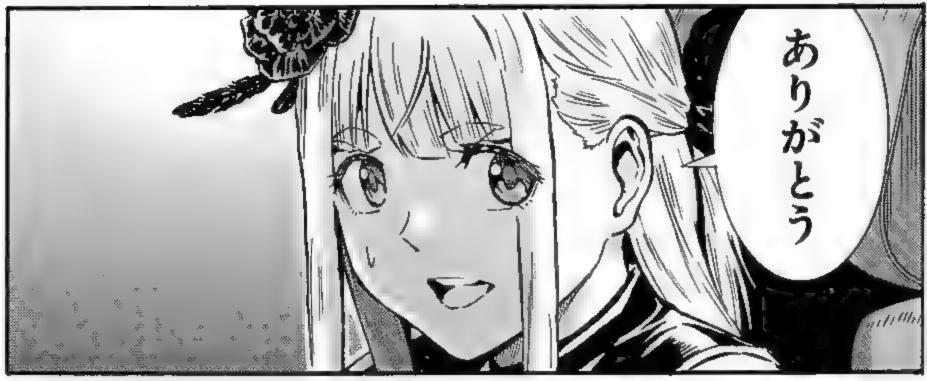












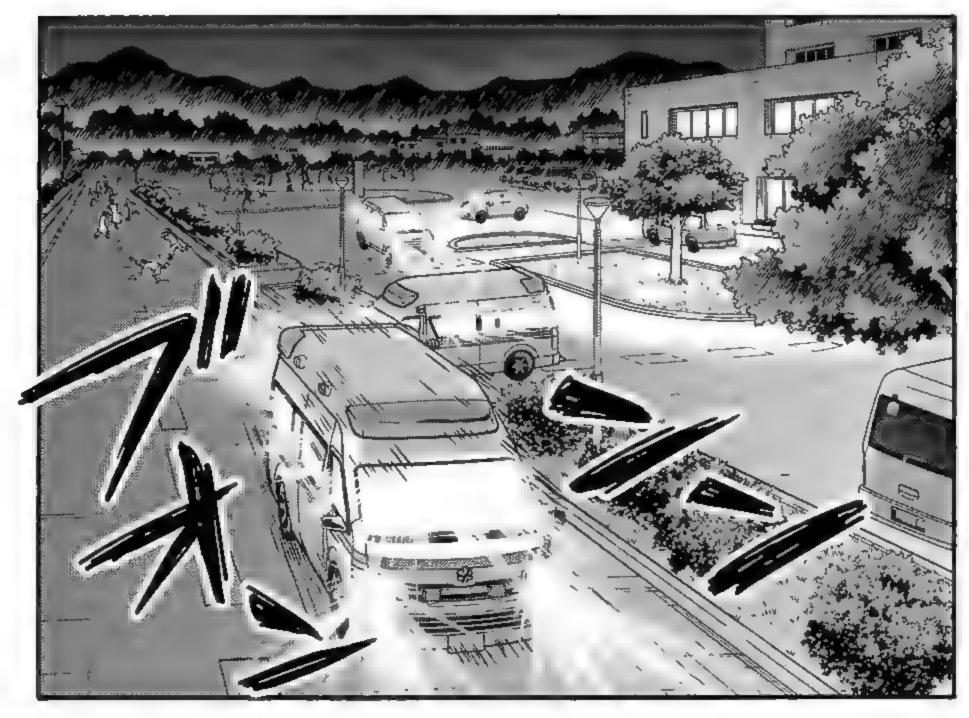










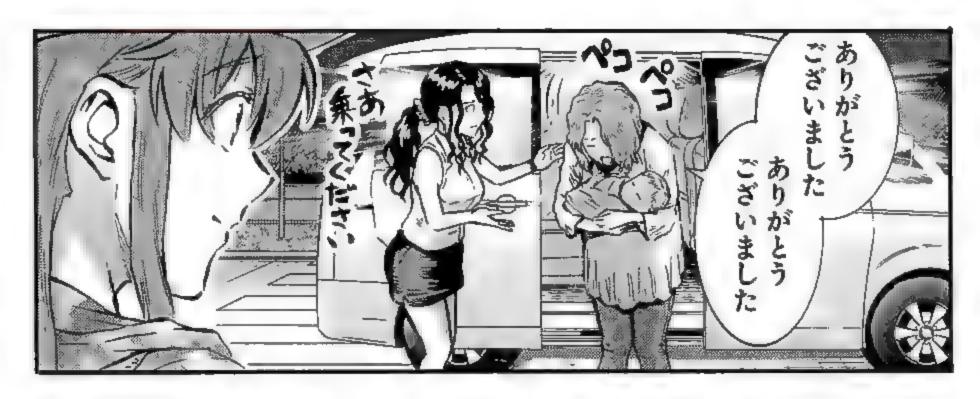




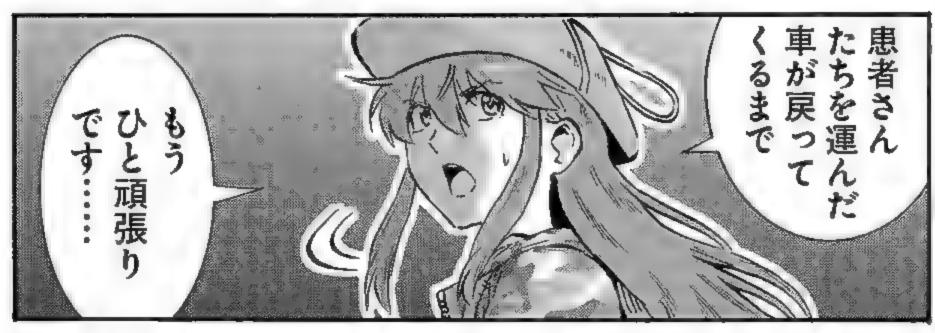








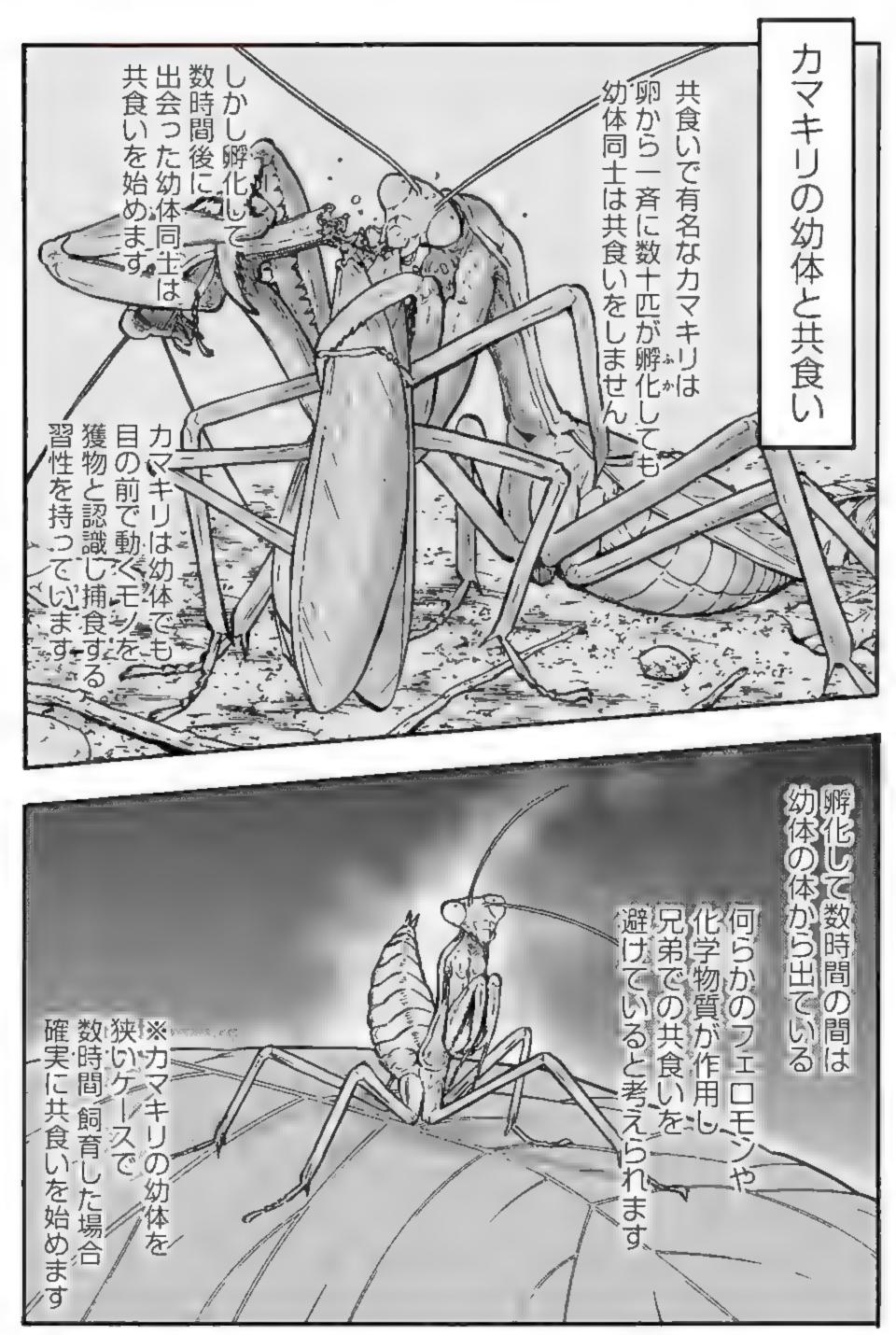










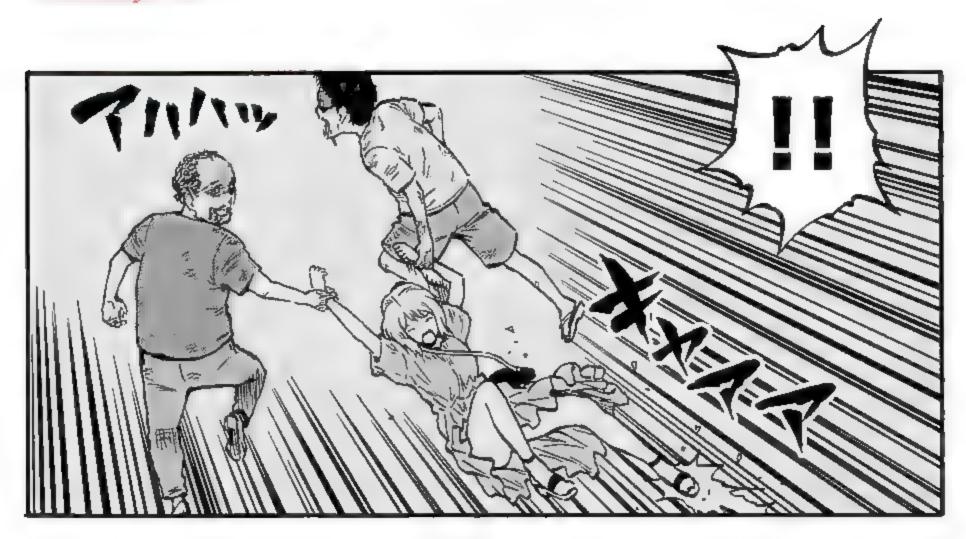










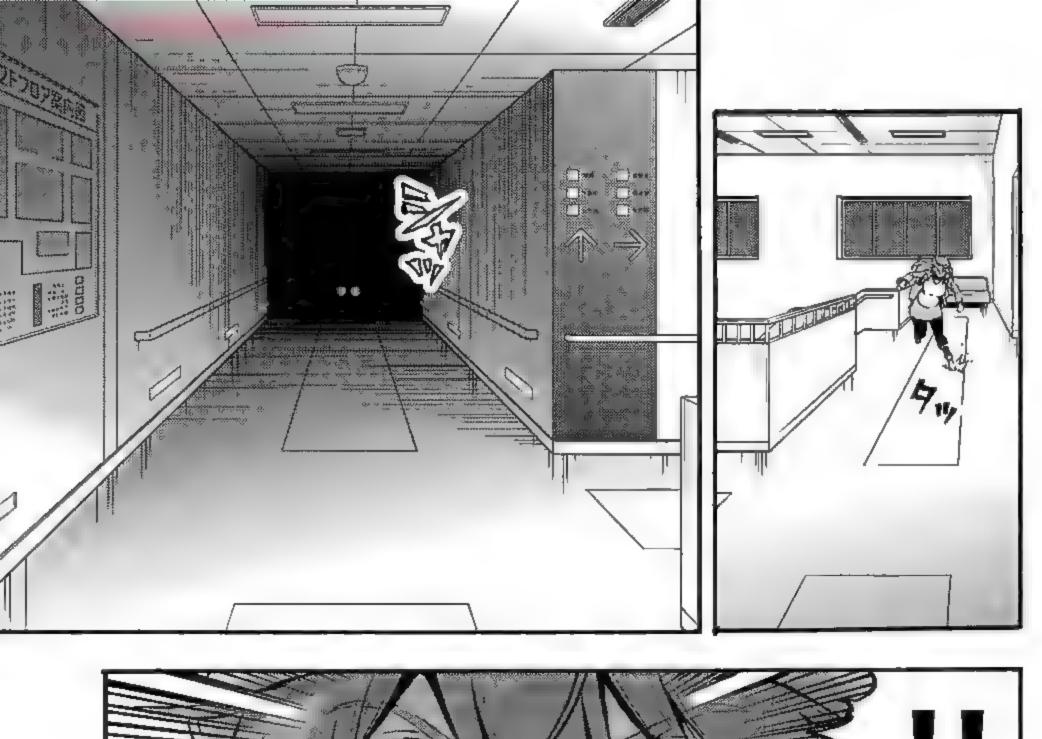


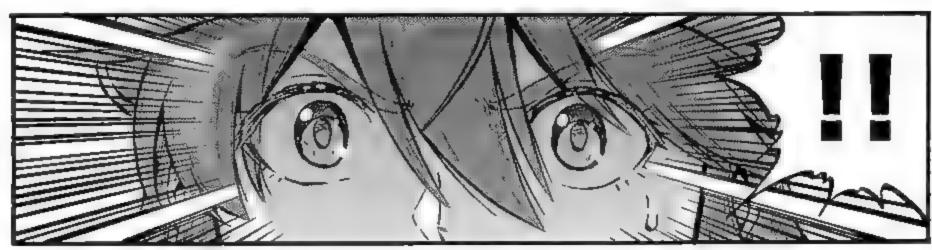


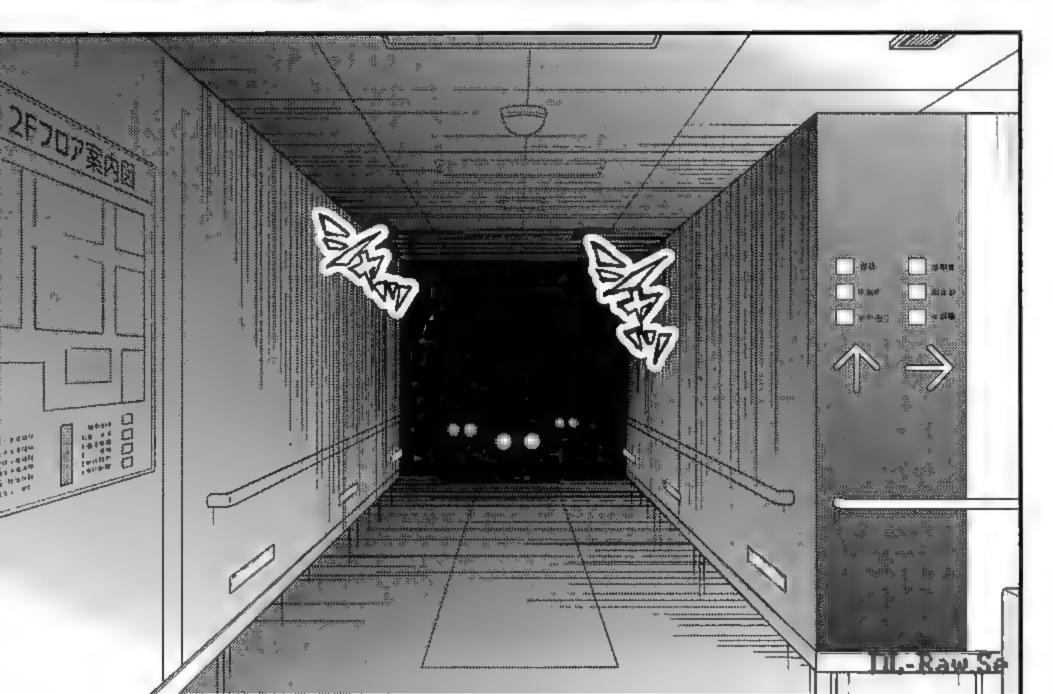








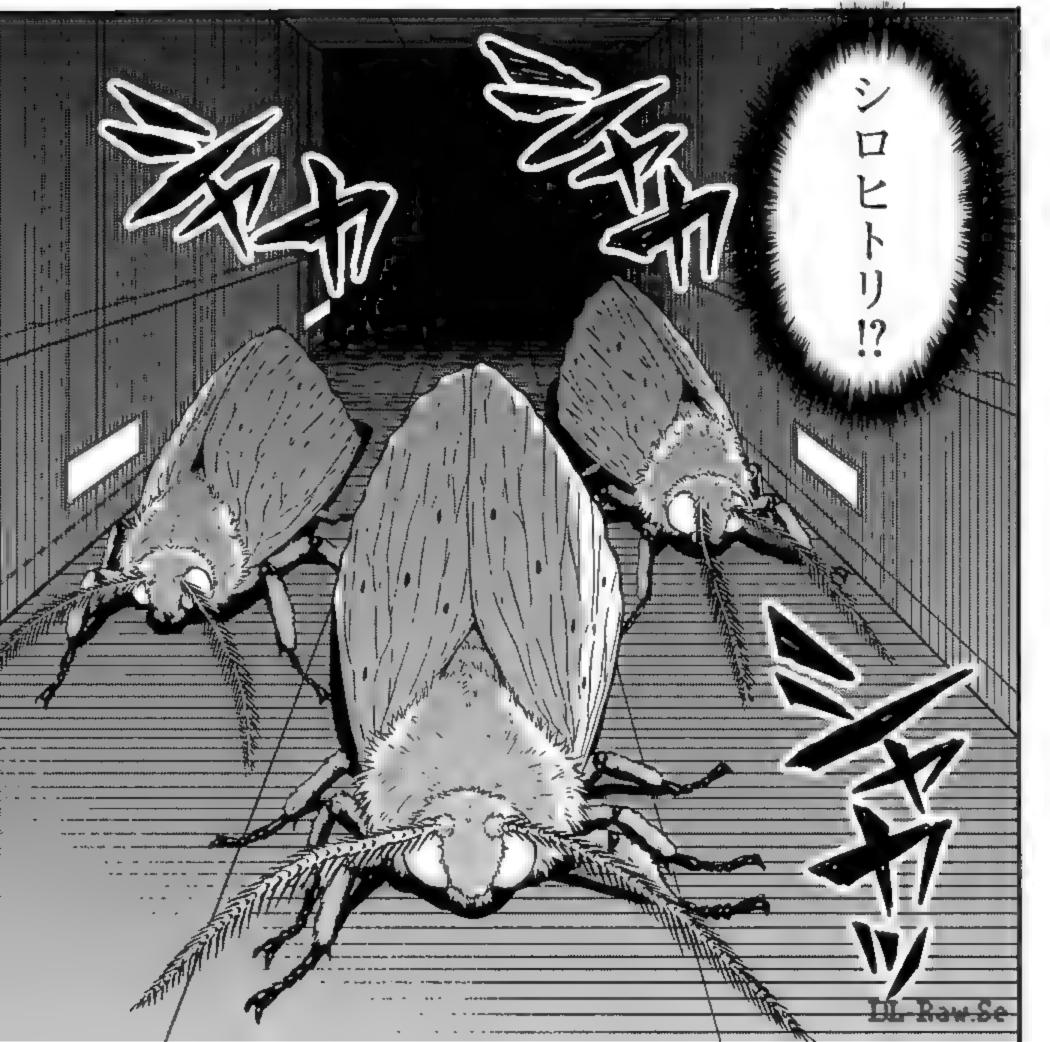




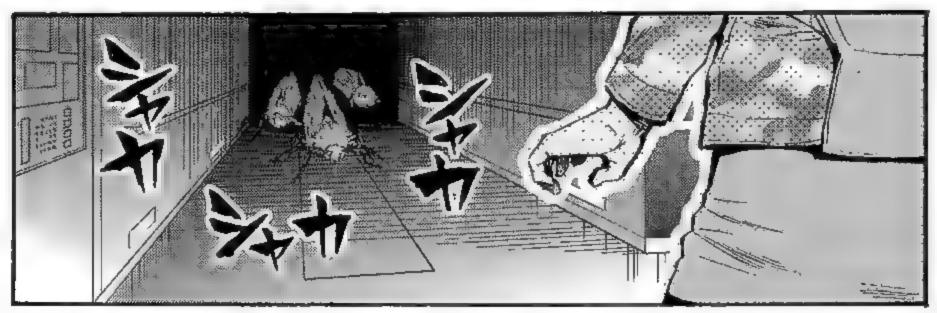


























第50話/ヒトリガ



































































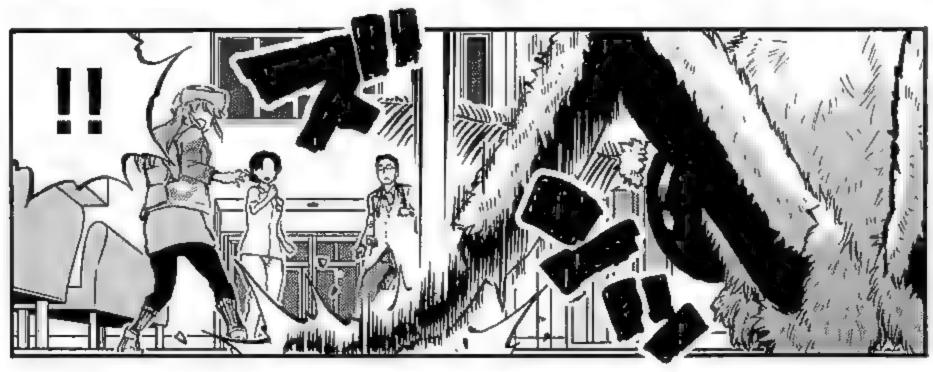


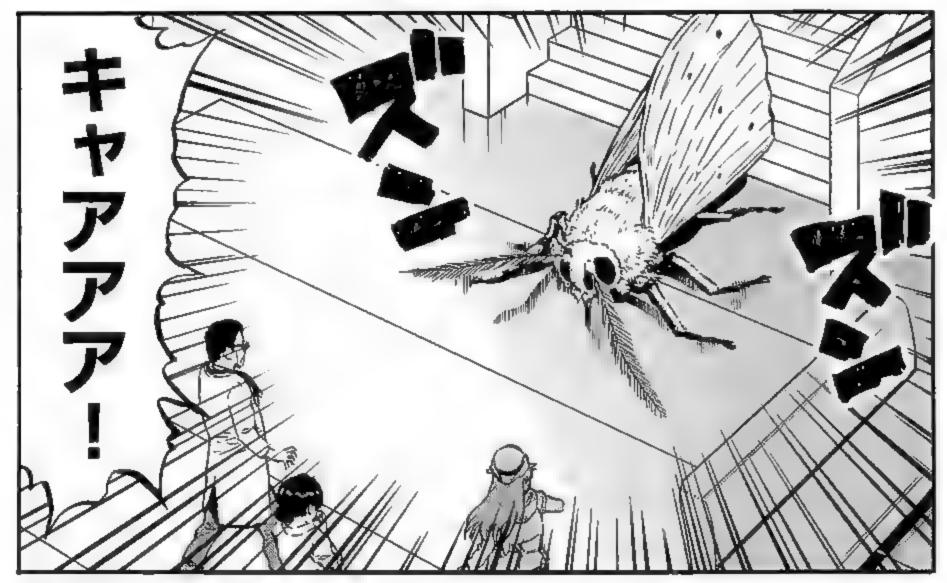


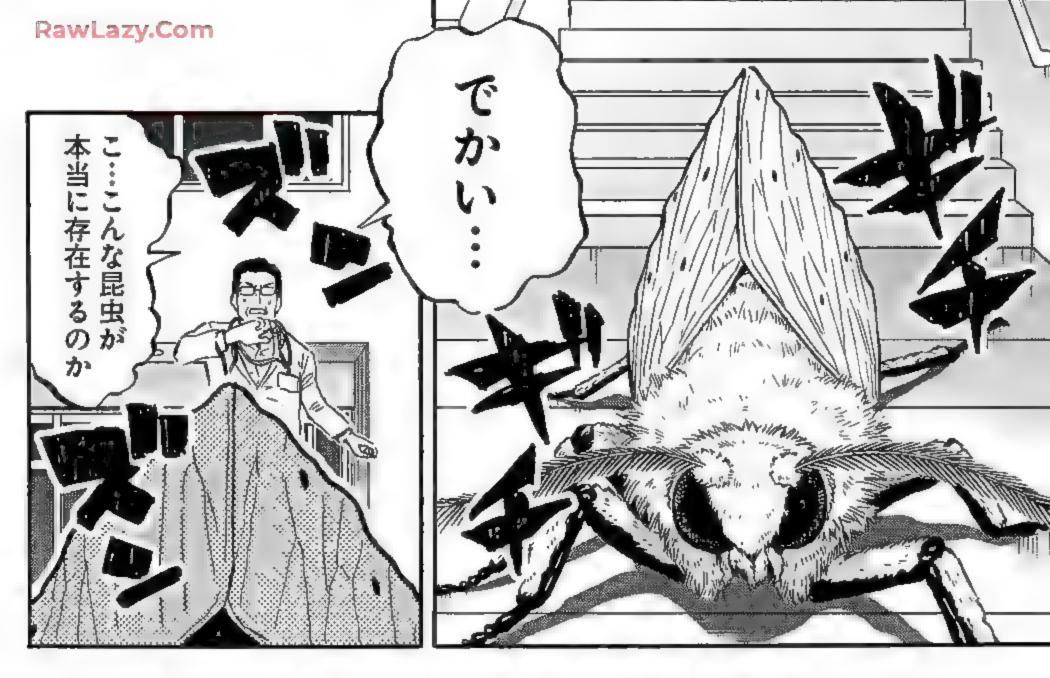












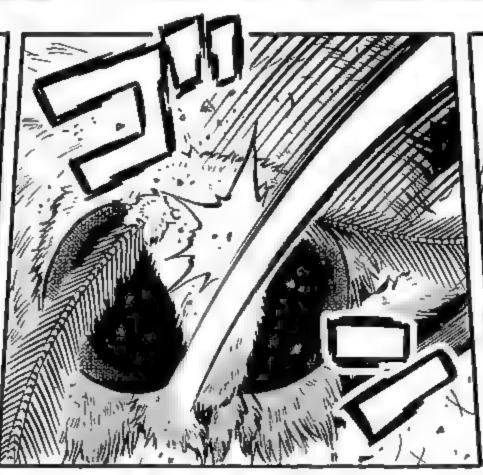




















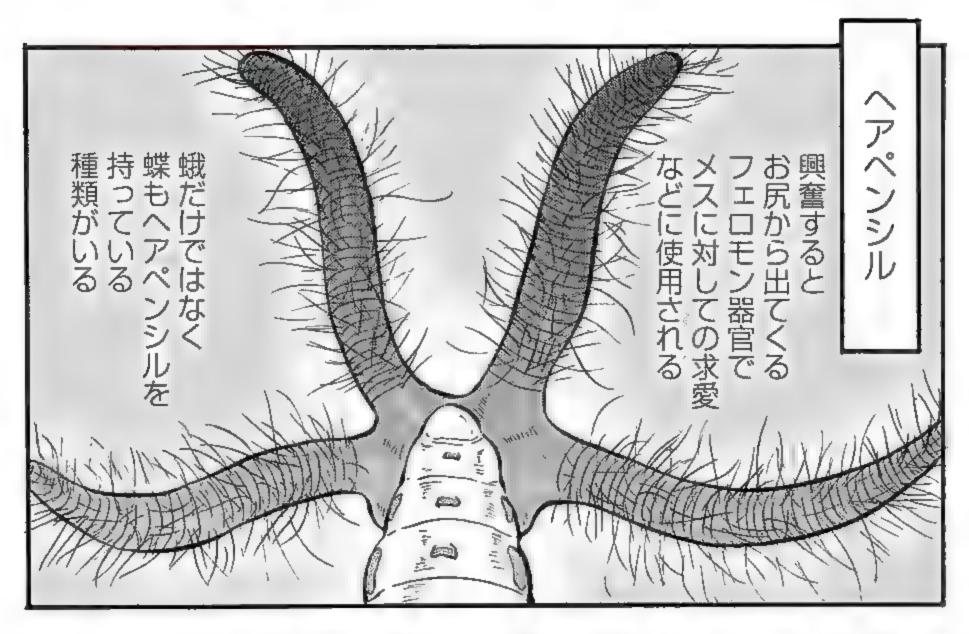




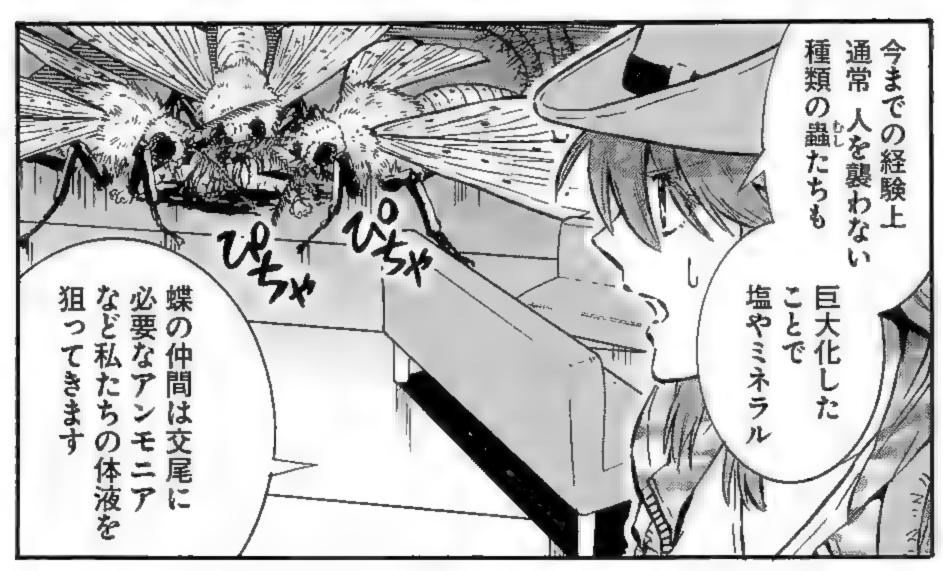


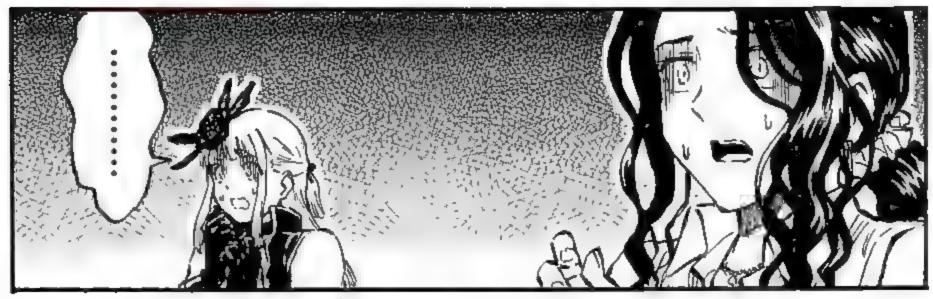




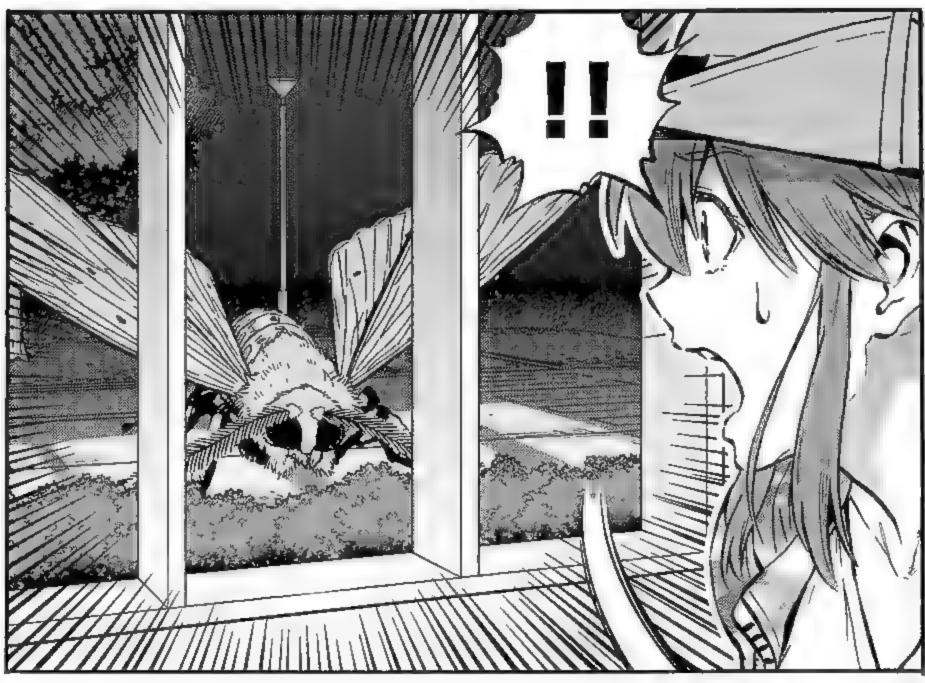


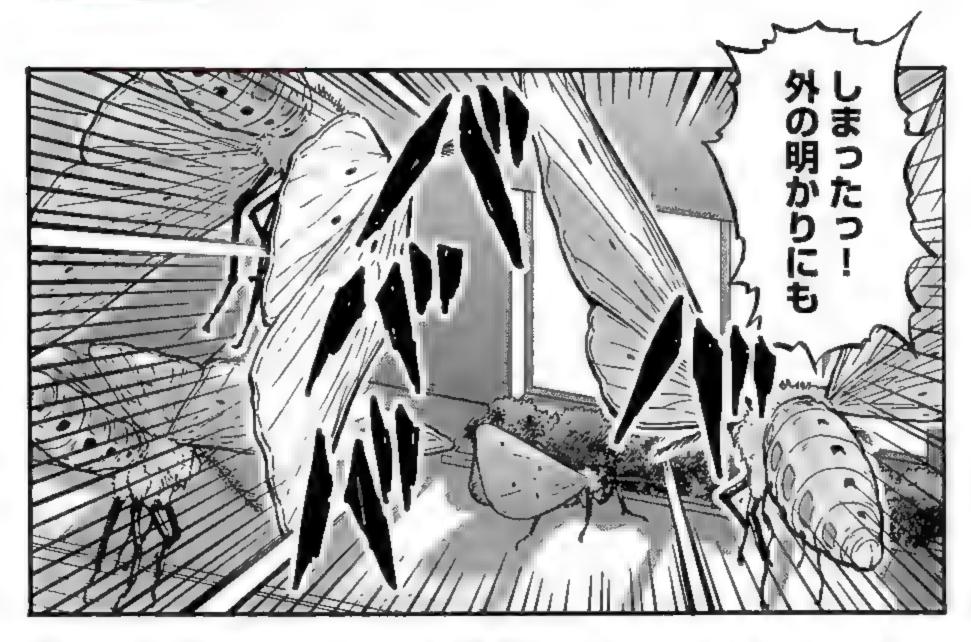








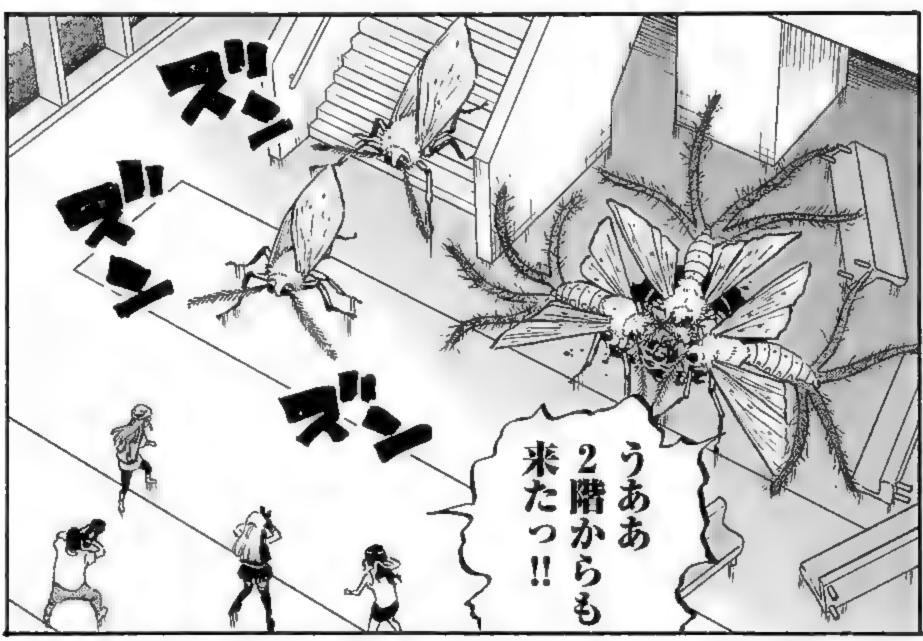






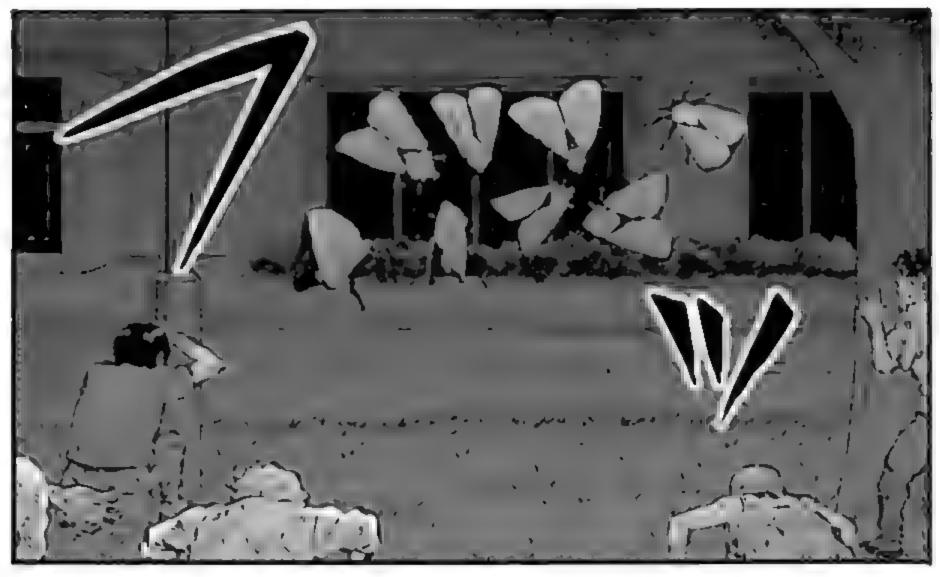








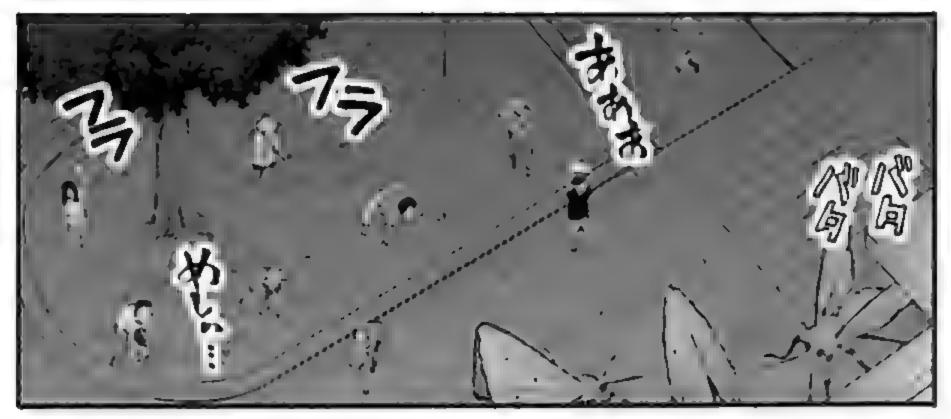


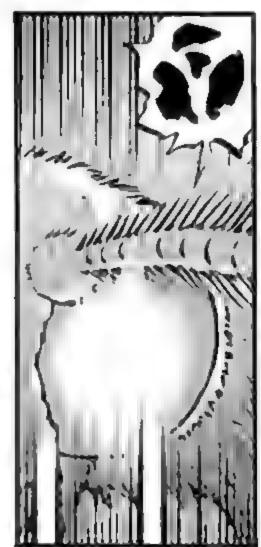






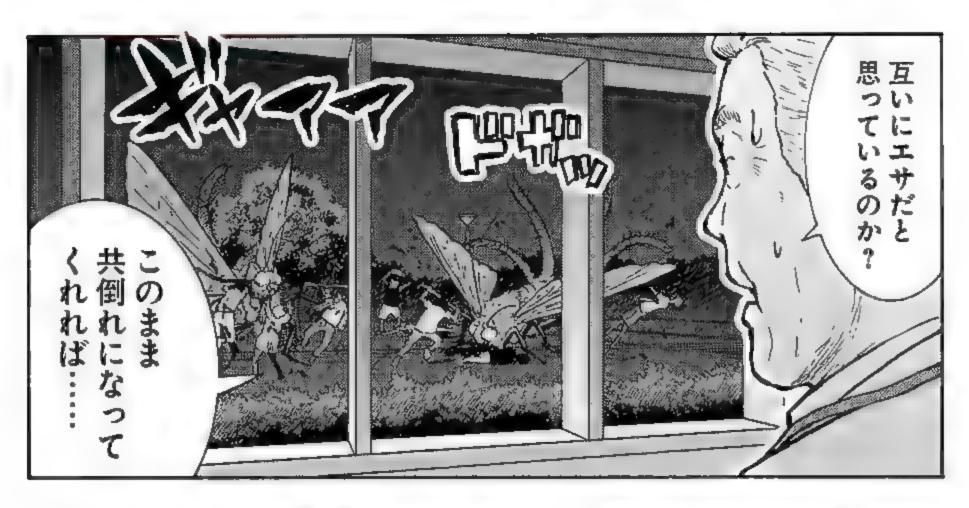












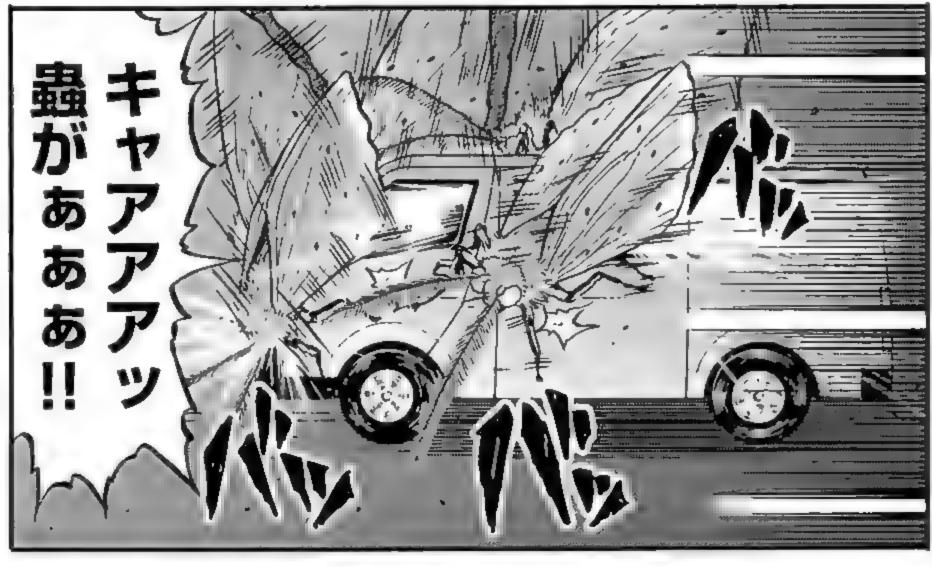


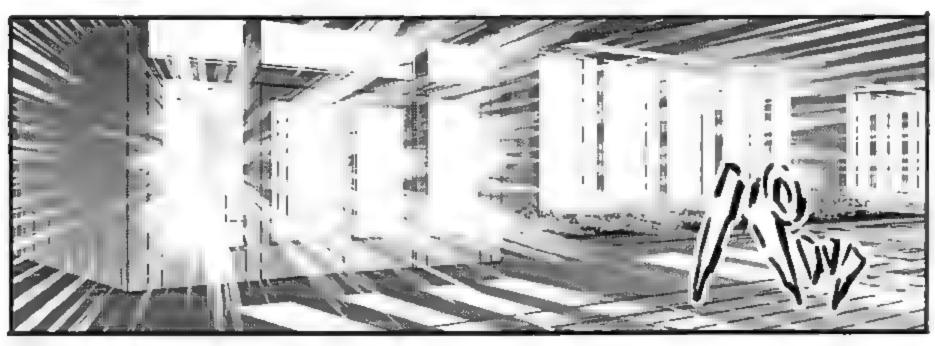


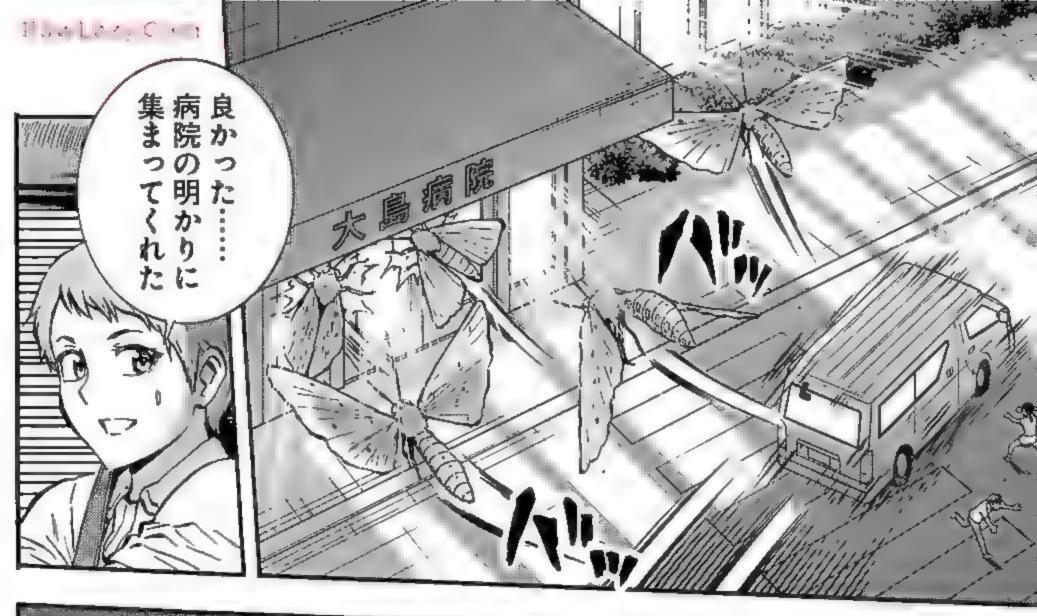


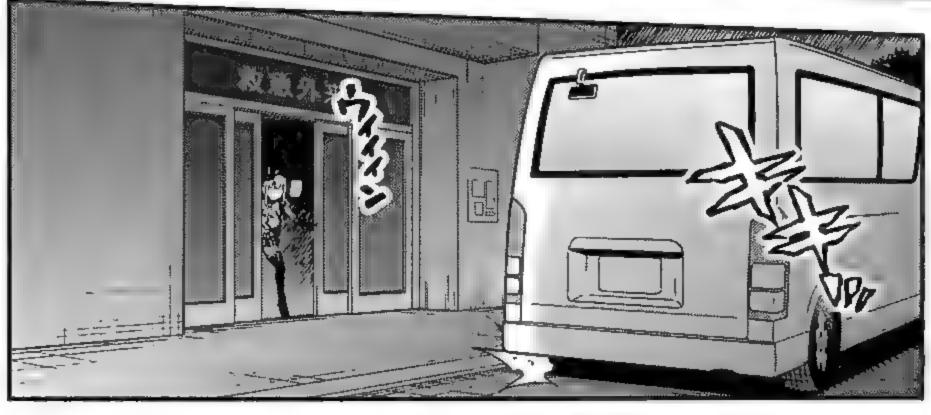




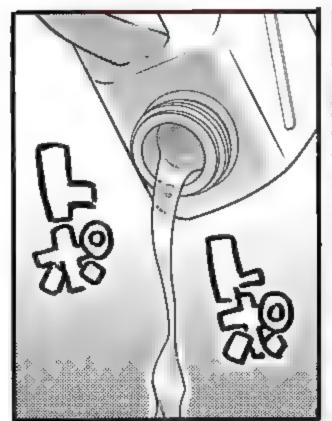


























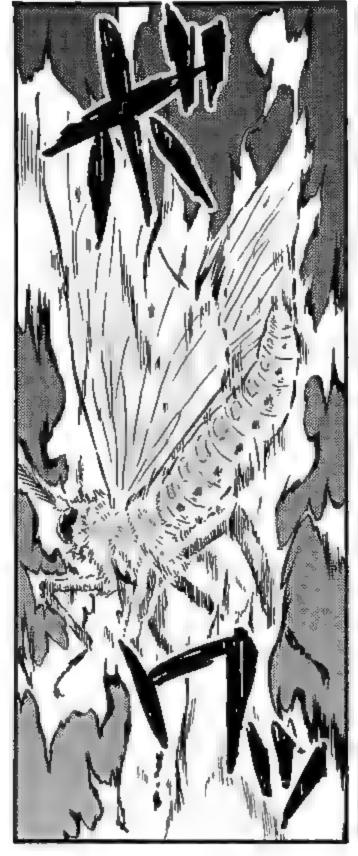






































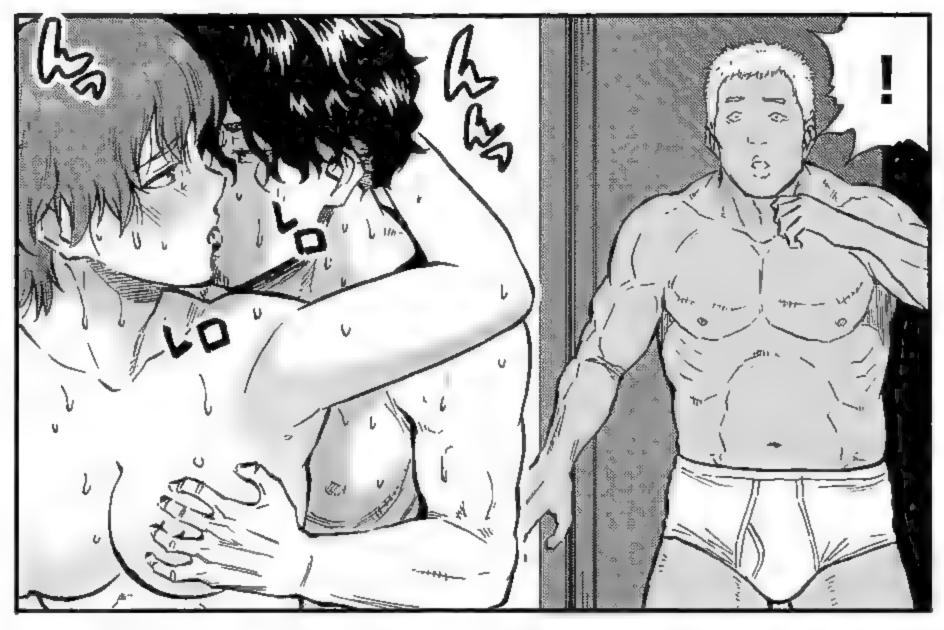






DL-Raw.Se



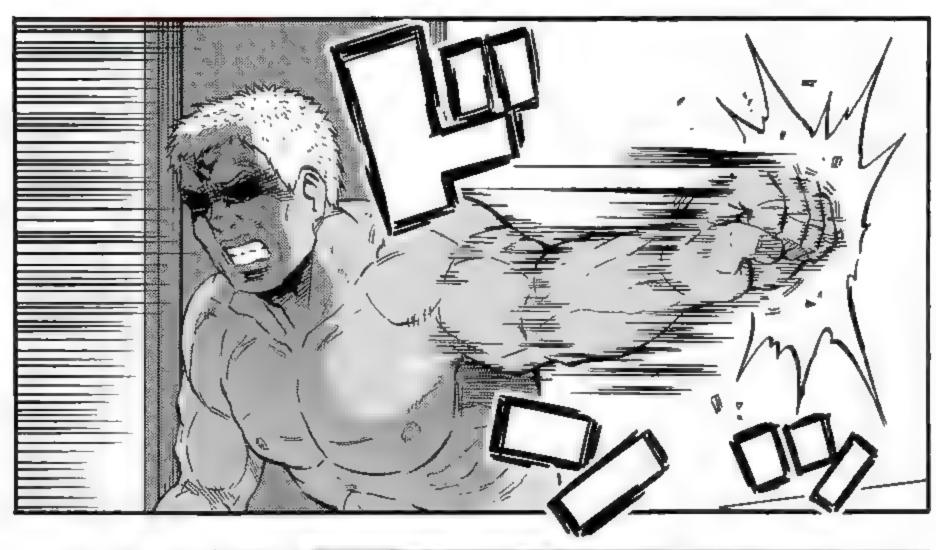




















































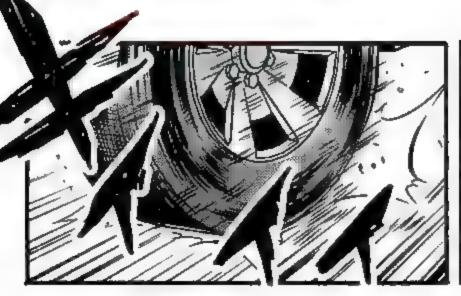






















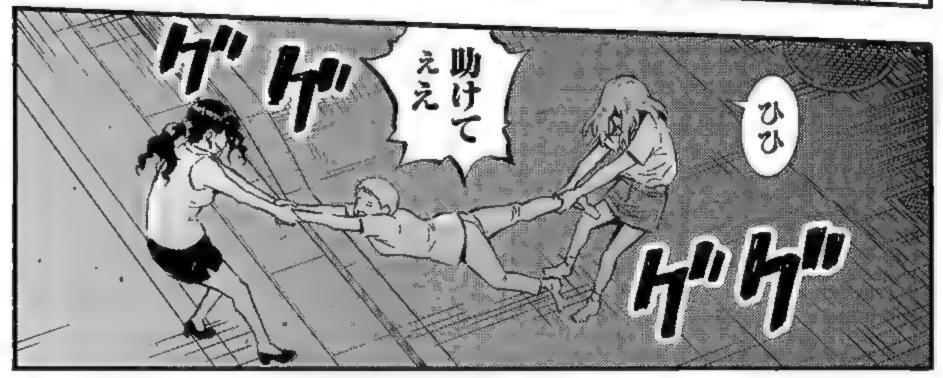
































DL-Raw.Se

















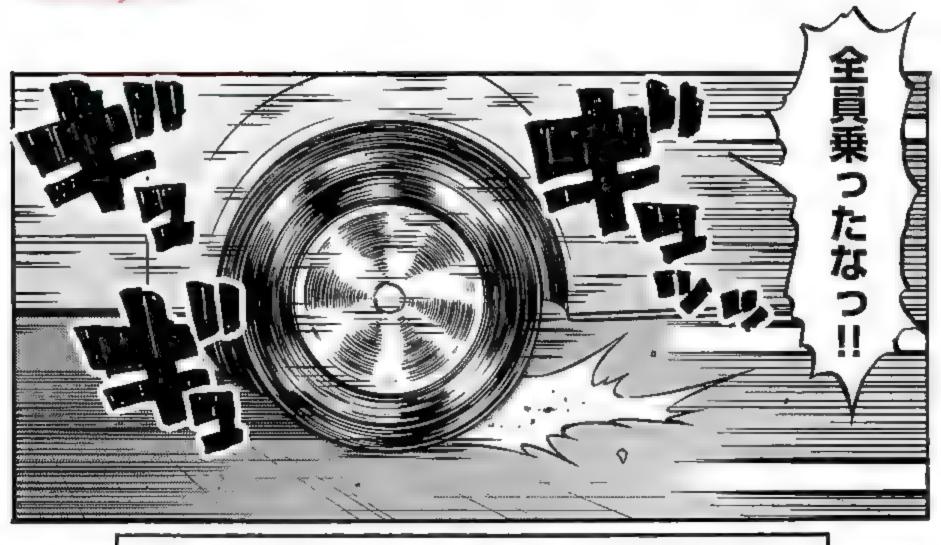


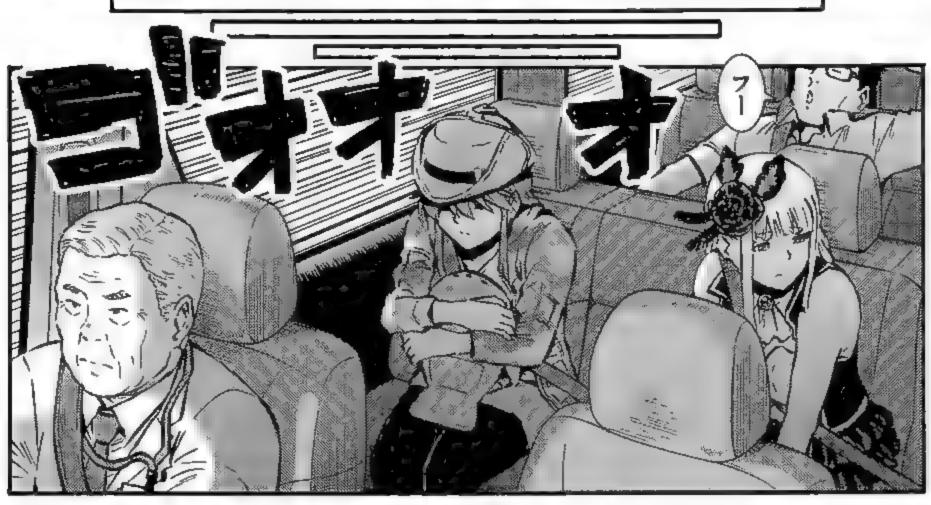






101















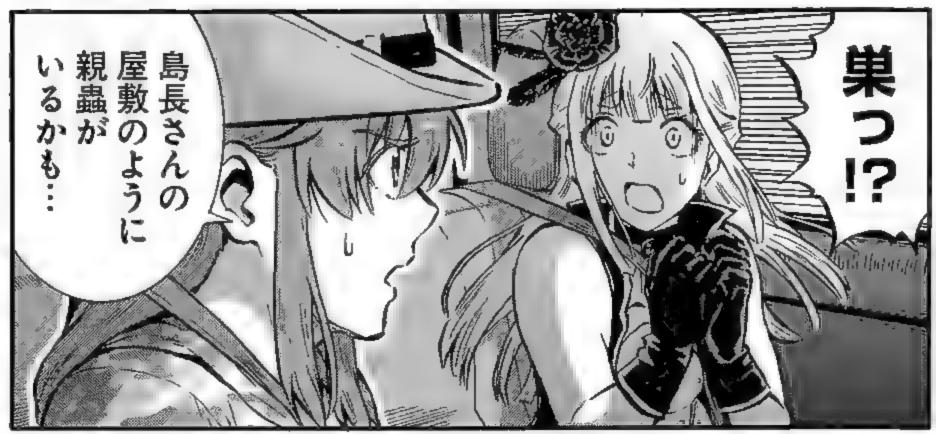












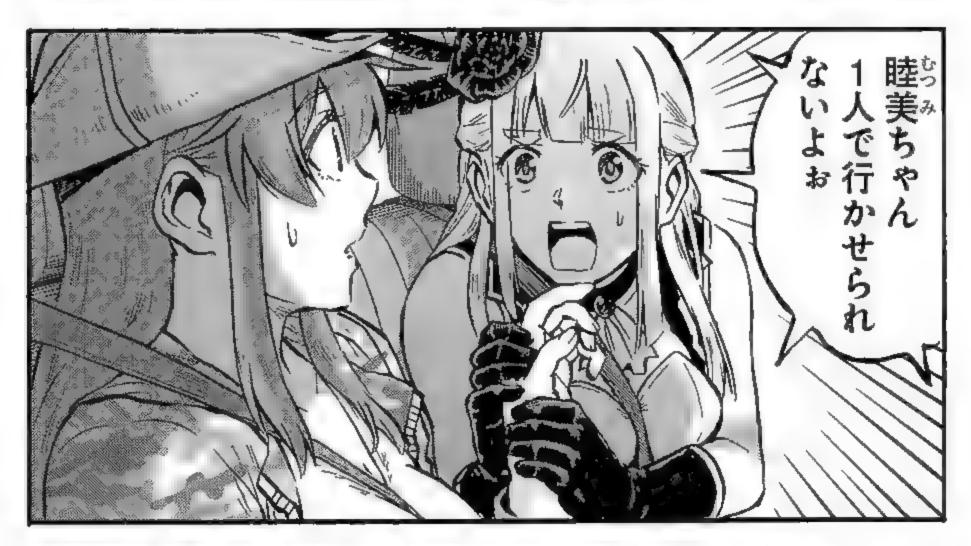




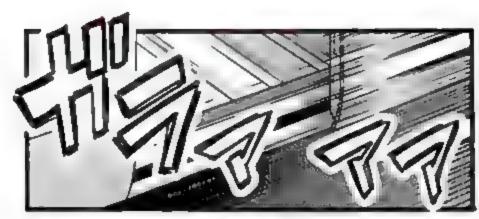
















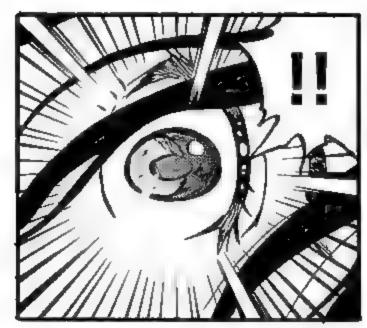
























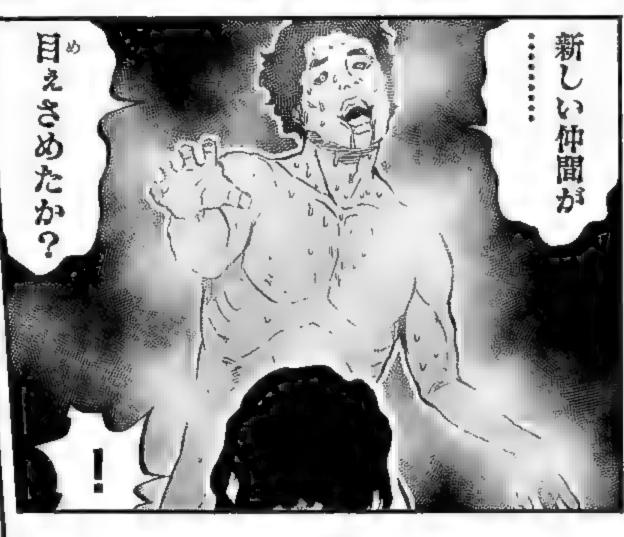












DL-Raw.Se





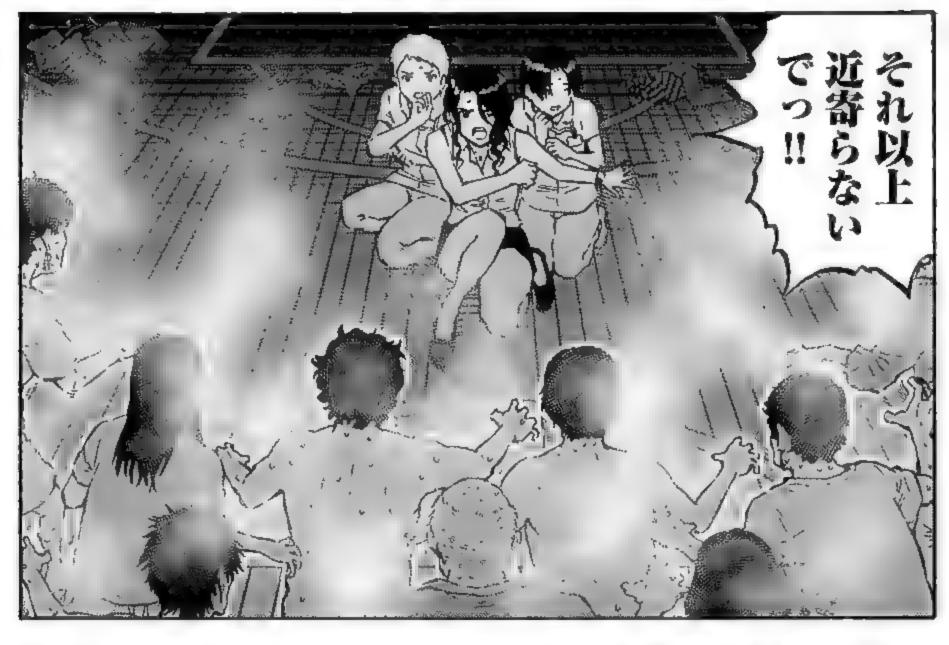










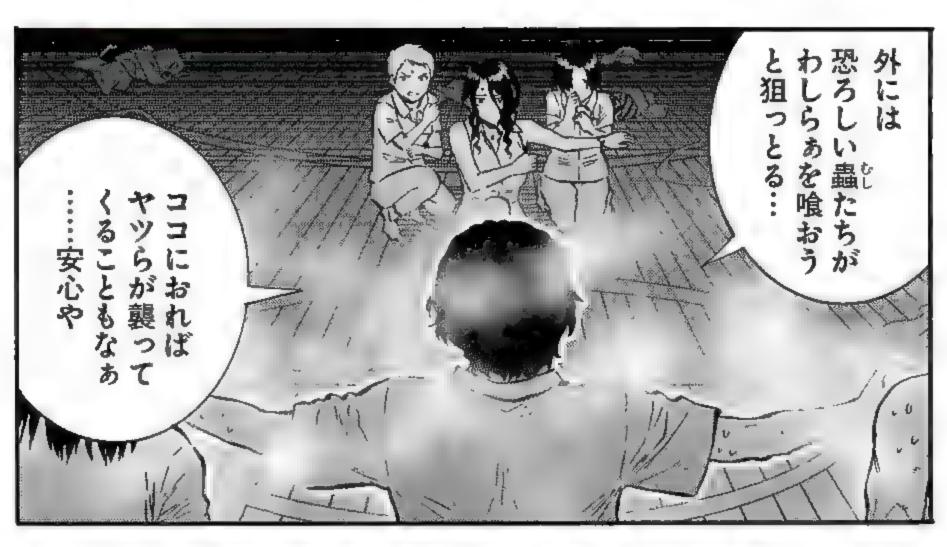














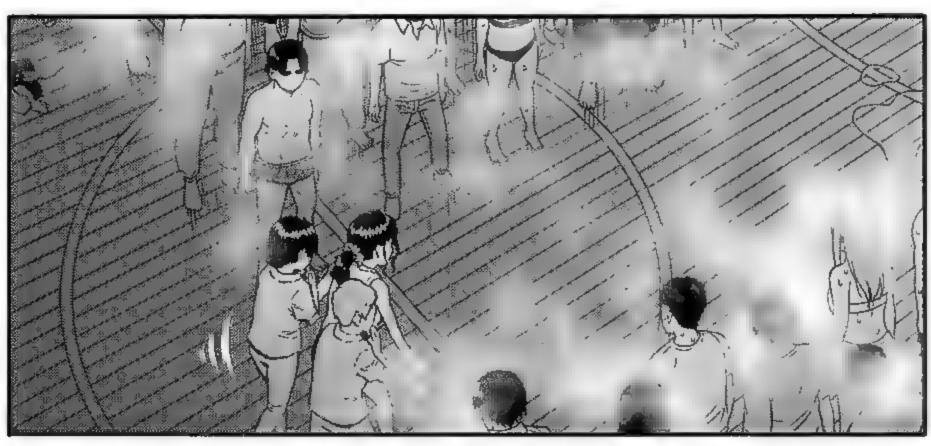
































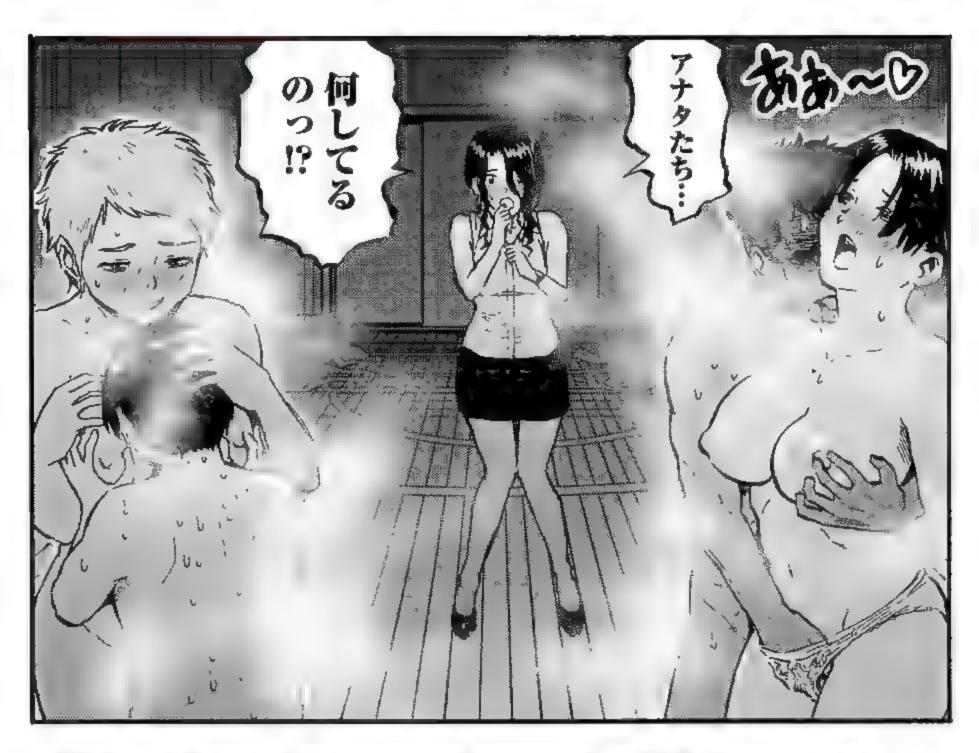










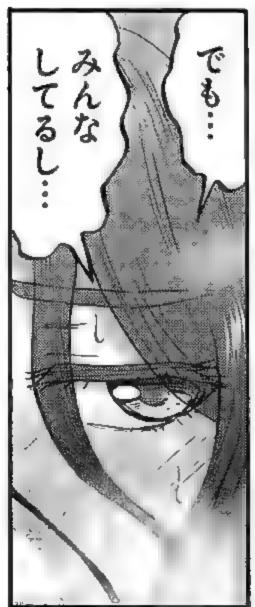


























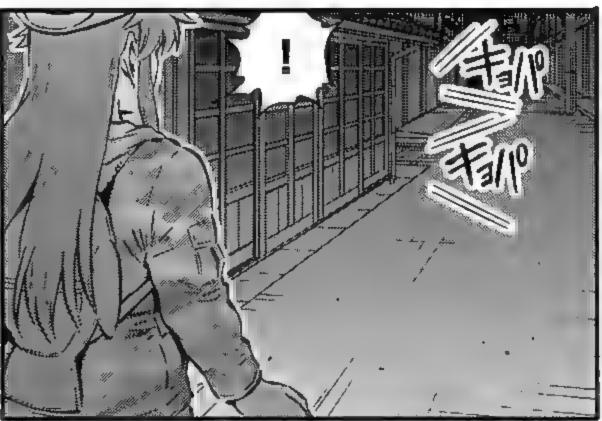








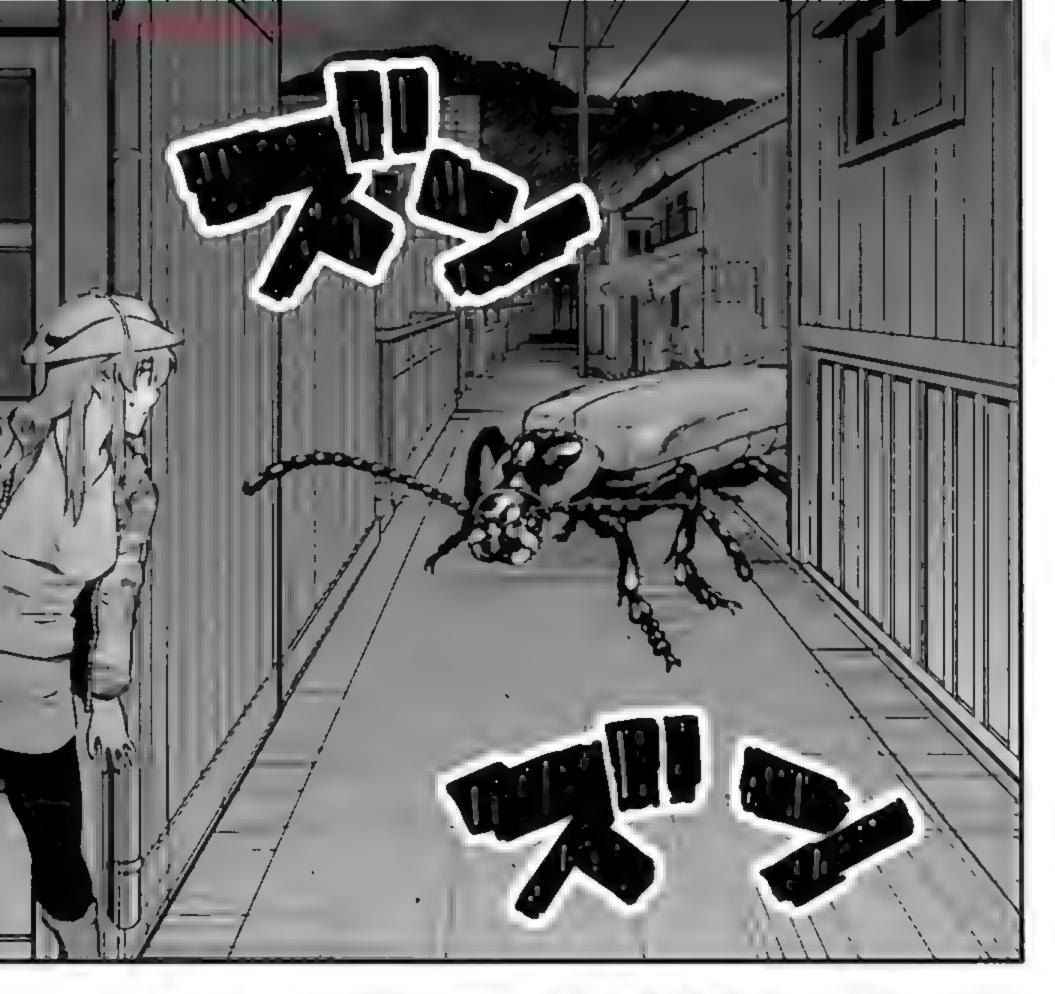


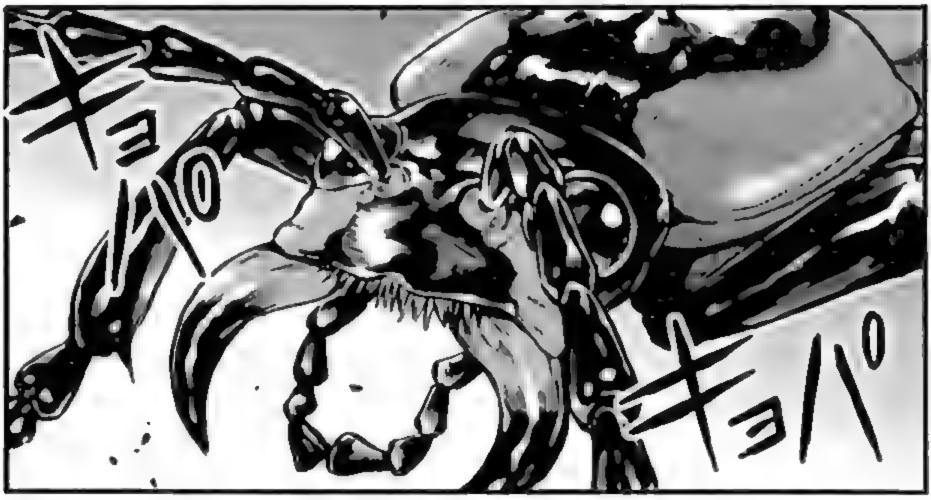




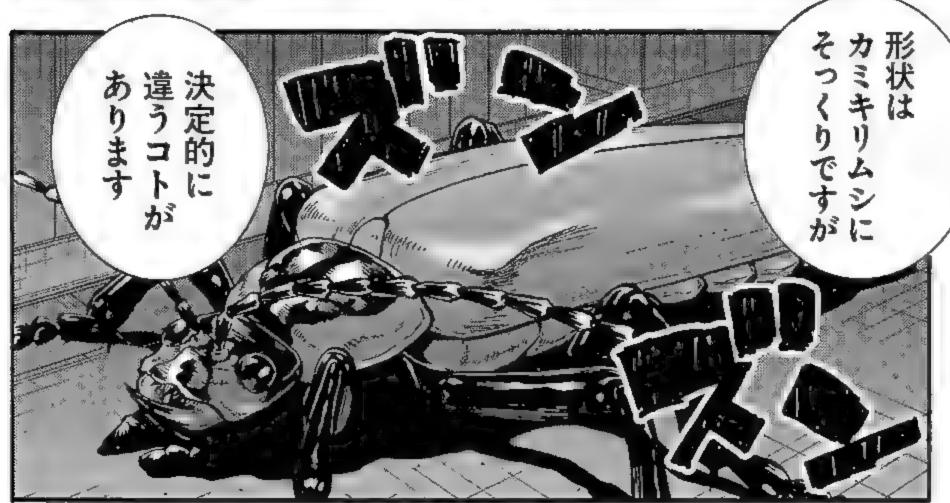




















135





137











































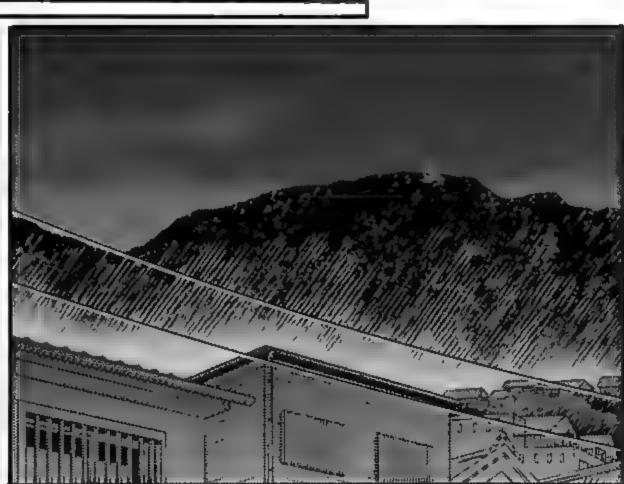






















150





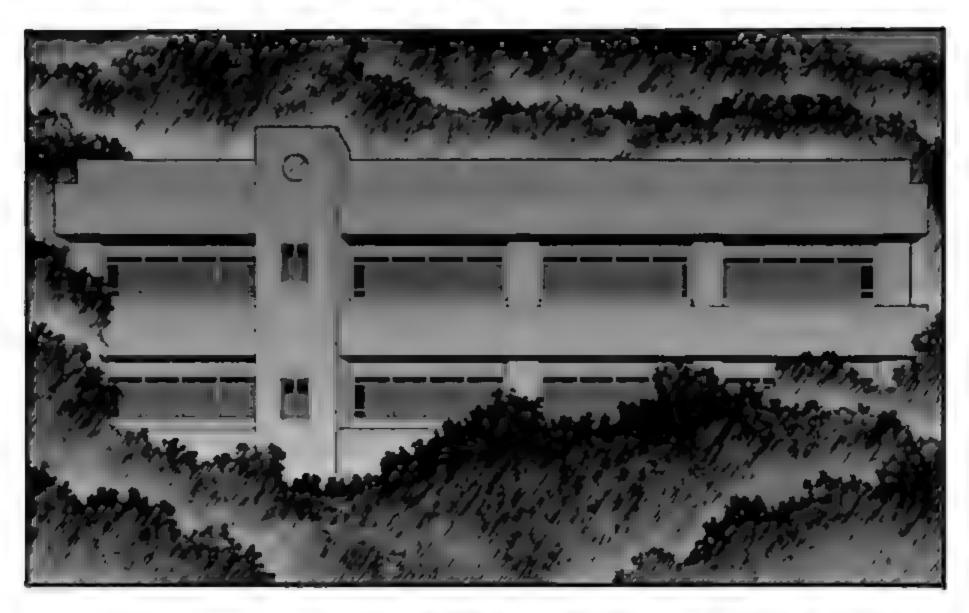














『大巨蟲列島』第13巻/完

152







この度は『大巨蟲列島』13巻をお買い上げ下さり、誠にありが とうございますっ!!

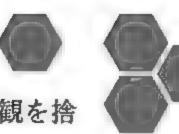
原作者の藤見泰高です。皆様の応援のお陰で、単行本13巻を出していただけました。これからも廣瀬先生や担当さんとガンバっていきますのでよろしくお願いいたします~m(__)m

〈大巨蟲列島を楽しく読んで貰うための小話 その13〉

ヒトリガ(火取蛾)

ヒトリガの仲間は、ほぼ日本中に生息しており夏になれば山中・ 街中を問わず外灯や自販機の下で目にすることが出来るどこにで もいる種です。作中のヒトリガはシロヒトリをモデルにデザインさ れています。

実物のシロヒトリは、ミヤマクワガタなどの高山種が見られる標高がやや高い場所や、平地でも涼しい地域に多く生息しています。真っ白のモフモフした体毛に、赤と黒のコントラストがハッキリした特徴的な斑点を持つ、可愛らしく美しい蛾です。オスを棒で突いたりして興奮させると、作中にも出てきた"ヘアペンシル"*1が飛び出してきます。



蛾というだけで気持ちが悪いと思われる方もいると思いますが、先入観を捨てて観察すると可愛く面白い入門種でもあります。夏場のキャンプ地の外灯下にも多く集まっていますから、見かけたら是非、観察してみて下さいね。

今回"飛んで火に入る夏の虫"の夏の虫がヒトリガのことであると作中で解説しました。昔から日本のことわざや俳句などには多くの蟲が出てきます。最近では、その俳句などに出てくる蟲たちの多くが種類や個体名を特定されてきています。

例えば有名な『おくの細道』で松尾芭蕉が詠んだ句に"閑さや岩にしみ入る蝉の声"とありますが、この蝉は"ニイニイゼミ"**2だと判明しました。

松尾芭蕉のように詠んだ季節や場所が明確に分かる場合、その季節と場所に一番合致した生態のセミを特定出来るわけです。この句の場合、最近盛んに行われるようになった昆虫の生態調査とネット上にあるビッグデータなどにより、"ニイニイゼミ"という結論に至りました。

この他にもマツムシとスズムシが紫式部の時代では呼び名が逆になっていた**3 など興味深い事実が次々と明らかになっています。武将がかぶる兜とサイカチムシとの関係など、調べるとその時代の面白い物語が色々と見えてきますので、興味を持たれた方は「あの句の」「あの詩の」「あの蟲が」なんなのか調べてみると面白いかもしれませんよ。

- ※1 メスからはヘアペンシルは出ません。
- ※2 一部ではアブラゼミだという説もあります。
- ※3 現代ではマツムシと呼ばれている昆虫が、この時代ではスズムシと呼ばれていました。

最新の走光性研究

ヒトリガで走光性についての話が出たので、僕が最近注目している昆虫科学を1つ。少し前まで夜の外灯などの光に集まる蟲たちの定説は

- ・蟲の複眼は紫外線が見えるために集まってくる。
- ・寒い地域では光が暖かさ(熱源)の象徴なので集まってくる。
- ・昔は夜間の明かりといえば月や星しかなかったため。月や星を 目印に翔ぶ方向を決めている。



……などでした。しかし最新 の走光性の研究では"光背反 応"が原因で、昆虫は夜間の外 灯に集まるということの ようです。

光背反応とは?

『大巨蟲列島』6巻のギンヤンマの説明でも少し触れたのですが、昔から知られている蟲の生態の1つで、太陽の光を背中に受けることにより空間を認知する機能です。昼間に飛翔する昆虫の多くは、背に太陽光(強い光)を受けることにより光背反応で上下左右の空間を認識しています。

光背反応を確認する実験では腹部を含め、四方八方から強い 光を当てられたトンボは、どこに背を向けて上下左右を確かめた ら良いのかが分からなくなり、飛翔することが出来なくなってしま います。

外灯の光に背を向けて飛翔し続けるために離れることが出来ない昆虫たち。この説に僕も90%以上納得できるのですが、長年、灯火採集やライトトラップなどをしてこられた方の中には、この説明だけでは納得できない点もあると思います。僕もその1人です(この部分を話すと長くなってしまうので割愛させていただきます)。

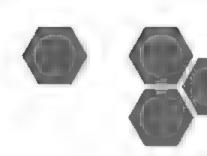
僕は学者ではないので詳しいところまでは分からないのですが、発表されているものを自分が読んだ限りでは頭に"?"が思い浮かぶところがあります。

今年の夏は外灯に集まる昆虫たちの動画を 撮影して更にデータを集めていきたいと 思います。これから色々と実験 結果の発表も増やしていきた

いので注目して下さいっ!

DL-Raw.Se

ジョウカイボン



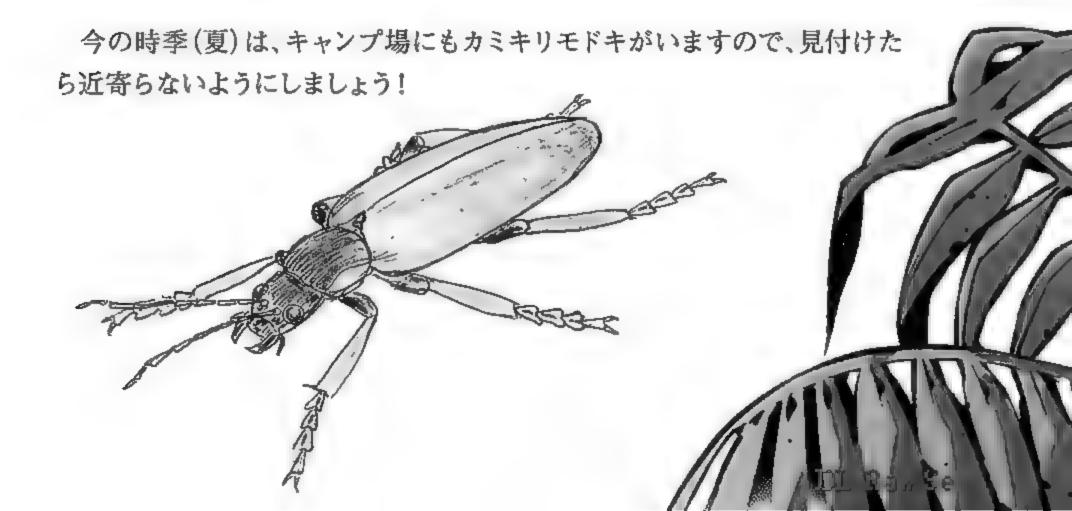
春から夏にかけて、遊歩道や散歩道などの草原で観察することが出来ます。大きくても2cmくらいの小型の昆虫ですが、気性が荒いのかクモや小型の肉食昆虫とエサの取り合いでケンカをしているところをよく見かけます。そういう意味でも観察のしがいがある昆虫です(笑

比較的、背が低い草にも付いているので是非観察してみて下さい。

漢字で書くと"浄海坊"なのですが…なぜ海辺ではなく山中に生息するジョウカイボンが海を綺麗にするお坊さんなのかは知りません。昔から調べているのですが納得がいく答えに辿り着けない…(^^;

作中では、「カミキリムシじゃないの?」と、ジュリアが言っていましたが、ジョウカイボンの存在を知らなければ、確実にメジャーなカミキリムシだと思ってしまうほど外見がそっくりです。カミキリムシ同様の脚の構造をしているため、窓ガラスのようなツルツルした面でも平気で歩き回ります。

またカミキリムシに似た昆虫でその名の通り"カミキリモドキ"がいます。このカミキリモドキの仲間は、本シリーズではおなじみの"カンタリジン"という毒を持っている種類もいますので注意が必要です。しかし、カミキリモドキと名前は付いていますが、ジョウカイボンほどカミキリムシに似ているわけではありません。カミキリモドキは細い脚と長く華奢な体をしていますので、カミキリムシを知っている人なら、まず間違えることはありません。





最近、30年以上前に出された昆虫の書物(資料)などを読み直しておりますが、ここ数年で今までの昆虫の常識が非常識になったり、またその逆もあったりするので大変面白いです。そして、驚くべきことに昆虫の新しい生まれる。

しい生態を発見している のが小中学生の若い力 だったりします。小さな新 事実でもインターネット の普及により昔なら考え られない速度で知られて いきますっ!!



何の固定観念もない若き観察眼…とても羨ましいです~(^^

最近、寄生された人々を含むモブキャラの量が増えてしまいました。廣瀬先生の作画の努力を考えると心苦しくて……。スミマセン、あと少し続きます。毎回、作画が大変ですがよろしくお願いします! m(__)m

協 力 加藤愛奈 森のプロレス 陶史の森ネイチャーセンターの先生方

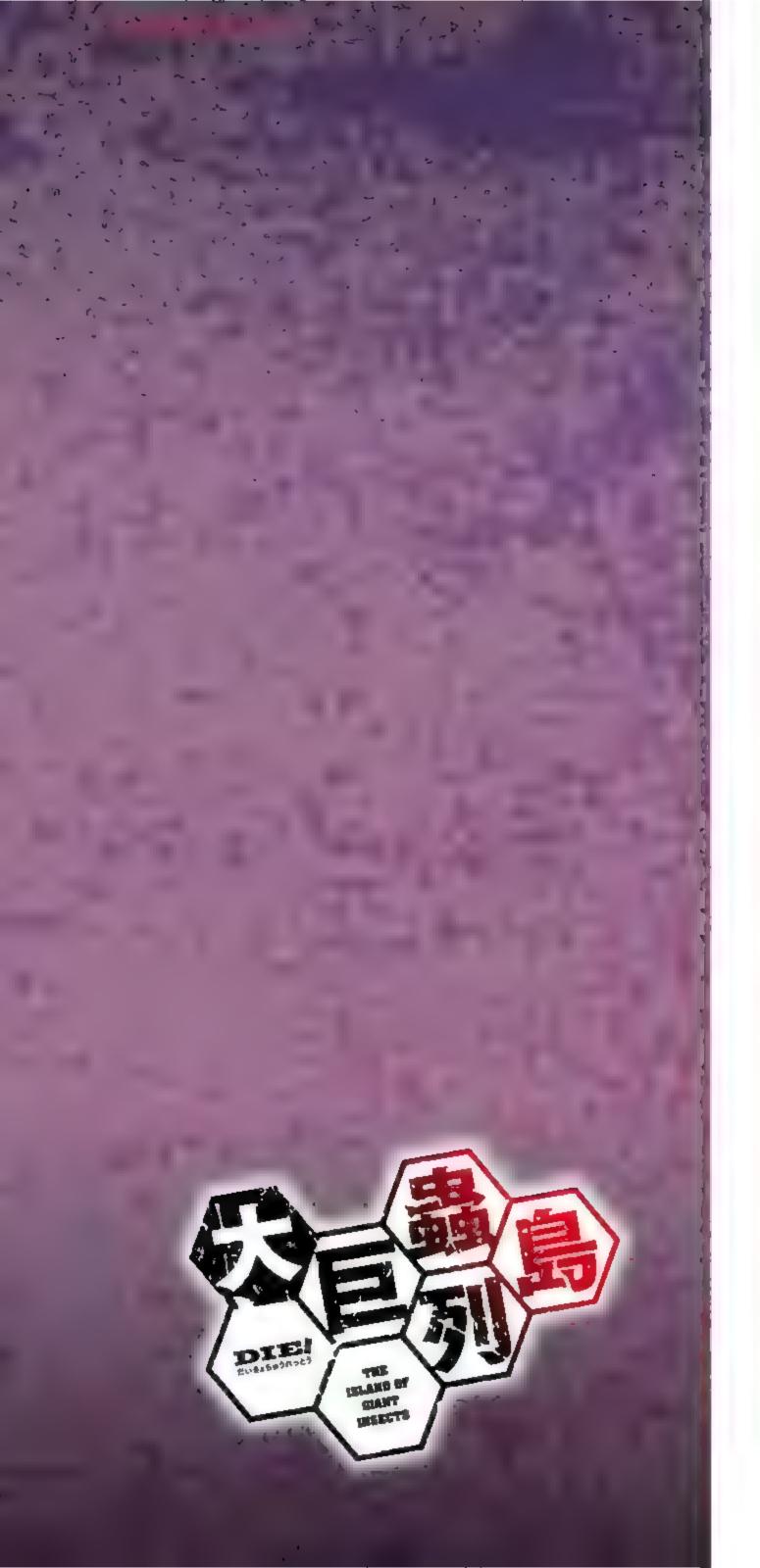
参考文献

『虫たちの生き残り戦略』 安富和男(著) 中公新書 『教養のための昆虫学』 平嶋藝宏・広渡俊哉(編著) 東海大学出版部

大巨蟲列島第13巻















大巨蟲列島13

2024年 7 月25日 初版発行

著 者

藤見泰高・原作

廣瀬 周・漫画

©Yasutaka Fujimi/Shu Hirose 2024

発行者

牧内真一郎

発行所

株式会社秋田書店

〒102-8101 東京都千代田区飯田橋2-10-8 編集(03)3265-1326 販売(03)3264-7248 製作(03)3265-7373

印刷所

大日本印刷株式会社 Printed in Japan

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

(禁/無断転載·放送·上映·上演·複写·公衆送信·Web上での画像掲載)

ISBN978-4-253-32140-2

デジタル版 2024年発行 製作所 デジタルカタパルト株式会社 https://www.digital-catapult.com